

学校コード F113310103251

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

東京家政大学 栄養学部 管理栄養学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人渡辺学園

令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

課長・大森三枝

電話番号

03-3961-1934

（夜間）

03-3961-5226

e-mail

kyogaku@tokyo-kasei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

栄養学部

<管理栄養学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	50
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人渡辺学園

(2) 大学名

東京家政大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒173-8602

東京都板橋区加賀1丁目18番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スガヤ サダヒコ) 菅谷 定彦 (平成28年4月)		
学長	(イノウエ シュンヤ) 井上 俊哉 (令和3年4月)		
学部長	(コニシ ヤスコ) 小西 康子 (令和4年4月)		
学科長等	(タナカ ヒロシ) 田中 寛 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
栄養学部 管理栄養学科 学士（栄養学）	家政関係	4 年	160 人	10 人	660 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	160	人	1.08倍	-	
	()	()	()	()	()	()	()	()	(-)	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]			
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	1313	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	1261	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	274	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	173	()			
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[-]	[]			
入学定員超過率 B/A									1.08				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	173 [-]	[]	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	173 [-]	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	— 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	173 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{173} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<栄養学部 管理栄養学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	コア科目	スタートアップセミナー自主自律	1								27	
		基礎ゼミナール	1前・後	2				1			2	
		キャリアデザイン	2・3・4前・後	2			1				1	
		小計(3科目)	-	6	0	0	1		1		29	
	人間教育科目	人間教育基礎科目	人間と学び	1・2・3・4前・後	2							1
			コミュニケーション論入門	1・2・3・4前・後	2							1
			子どもの世界	1・2・3・4前・後	2							1
			芸術論	1・2・3・4前・後	2							3
			心理学入門	1・2・3・4前・後	2							1
			社会と文化	1・2・3・4前・後	2							1
		ジェンダー論に学ぶ	1・2・3・4前・後	2							1	
		家政学原論	1・2・3・4前・後	2							1	
		生活経営学	1・2・3・4前・後	2							1	
		多様な社会を生きる	1・2・3・4前・後	2							1	
		ライフデザイン入門	1・2・3・4前・後	2							2	
		教養としての歴史	1・2・3・4前・後	2							1	
		社会学入門	1・2・3・4前・後	2							1	
		経済学入門	1・2・3・4前・後	2							1	
		日本事情	1・2・3・4前・後	2							1	
		日本国憲法	1・2前・後	2							1	
		自然といのち	女性の健康	1・2・3・4前・後	2							3
		いのちと生活	1・2・3・4前・後	2							1	
		環境共生学	1・2・3・4前・後	2							1	
	統計学入門	1・2・3・4前・後	2							1		
	生命科学	1前・後	2							1		
	人間教育演習科目	人間と学び	人間と学びA	1・2・3・4前・後	2							1
			人間と学びB	1・2・3・4前・後	2							2
			人間と学びC	1・2・3・4前・後	2							1
			人間と学びD	1・2・3・4前・後	2							4
人間と学びE			1・2・3・4前・後	2							3	
人間と学びF			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びG			1・2・3・4前・後	2							3	
人間と学びH			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びI			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びJ			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びK			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びL			1・2・3・4前・後	2							1	
社会と文化			社会と文化A	1・2・3・4前・後	2							1
			社会と文化B	1・2・3・4前・後	2							1
	社会と文化C	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化D	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化E	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化F	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化G	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化H	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化I	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化J	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化K	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化L	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化M	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化N	1・2・3・4前・後	2							1		
社会と文化O	1・2・3・4前・後	2							1			

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	コア科目	スタートアップセミナー自主自律	1								27	
		基礎ゼミナール	1前・後	2				1			2	
		キャリアデザイン	2・3・4前・後	2			1		1		1	
		小計(3科目)	-	6	0	0	1		1		29	
	人間教育科目	人間教育基礎科目	人間と学び	1・2・3・4前・後	2							1
			コミュニケーション論入門	1・2・3・4前・後	2							1
			子どもの世界	1・2・3・4前・後	2							1
			芸術論	1・2・3・4前・後	2							3
			心理学入門	1・2・3・4前・後	2							1
			社会と文化	1・2・3・4前・後	2							1
		ジェンダー論に学ぶ	1・2・3・4前・後	2							1	
		家政学原論	1・2・3・4前・後	2							1	
		生活経営学	1・2・3・4前・後	2							1	
		多様な社会を生きる	1・2・3・4前・後	2							1	
		ライフデザイン入門	1・2・3・4前・後	2							2	
		教養としての歴史	1・2・3・4前・後	2							1	
		社会学入門	1・2・3・4前・後	2							1	
		経済学入門	1・2・3・4前・後	2							1	
		日本事情	1・2・3・4前・後	2							1	
		日本国憲法	1・2前・後	2							1	
		自然といのち	女性の健康	1・2・3・4前・後	2							3
		いのちと生活	1・2・3・4前・後	2							1	
		環境共生学	1・2・3・4前・後	2							1	
	統計学入門	1・2・3・4前・後	2							1		
	生命科学	1前・後	2							1		
	人間教育演習科目	人間と学び	人間と学びA	1・2・3・4前・後	2							1
			人間と学びB	1・2・3・4前・後	2							2
			人間と学びC	1・2・3・4前・後	2							1
			人間と学びD	1・2・3・4前・後	2							4
人間と学びE			1・2・3・4前・後	2							3	
人間と学びF			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びG			1・2・3・4前・後	2							3	
人間と学びH			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びI			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びJ			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びK			1・2・3・4前・後	2							1	
人間と学びL			1・2・3・4前・後	2							1	
社会と文化			社会と文化A	1・2・3・4前・後	2							1
			社会と文化B	1・2・3・4前・後	2							1
	社会と文化C	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化D	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化E	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化F	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化G	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化H	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化I	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化J	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化K	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化L	1・2・3・4前・後	2							1		
	社会と文化M	1・2・3・4前・後	2							2		
	社会と文化N	1・2・3・4前・後	2							1		
社会と文化O	1・2・3・4前・後	2							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教職に関する科目	特別支援教育概論	1後	1								1
	教育課程論	2後	2								1
	理科教育法Ⅰ	2後	2								1
	理科教育法Ⅱ	3前	2								1
	理科教育法Ⅲ	3後	2								1
	理科教育法Ⅳ	4前	2								1
	道德教育の理論と方法	3前	2								1
	総合的な学習の時間の指導法	4前	1								1
	特別活動の指導法	4前	1								1
	教育方法論	3前	2								1
	生徒・進路指導論	3前	2								1
	教育相談の理論と方法	2後	2								1
	生徒指導論(栄養教諭)	4前	2								1
	教育実習事前事後指導(中・高)	4通	1								1
	教育実習事前事後指導(栄養)	4通	1								1
	教育実習(中)	4通	4								1
	教育実習(高)	4通	2								1
	教育実習(栄養)	4通	1								1
	教職実践演習(中・高)	4後	2								2
	教職実践演習(栄養)	4後	2			1					1
小計(20科目)			0	36	0	1					12
合計(192科目)			97	292	0	7	1	4			173

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】 本学に4年以上在学し、共通教育科目24単位以上、専門教育科目88単位以上を満たし、124単位以上を修得すること。
 【履修方法】 共通教育科目は、「人間教育基礎科目」区分より4単位以上、「人間教育演習科目」区分より2単位以上修得する。(履修科目の登録の上限)44単位(年間)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助	
教職課程科目	特別支援教育概論	1後	1								1
	教育課程論	2後	2								1
	理科教育法Ⅰ	2後	2								1
	理科教育法Ⅱ	3前	2								1
	理科教育法Ⅲ	3後	2								1
	理科教育法Ⅳ	4前	2								1
	道德教育の理論と方法	3前	2								1
	総合的な学習の時間の指導法	4前	1								1
	特別活動の指導法	4前	1								1
	教育方法論	3前	2								1
	教育におけるICT活用	2後	1								1
	生徒・進路指導論	3前	2								1
	教育相談の理論と方法	2後	2								1
	生徒指導論(栄養教諭)	4前	2								1
	教育実習事前事後指導(中・高)	4通	1								1
	教育実習事前事後指導(栄養)	4通	1								1
	教育実習(中)	4通	4								1
	教育実習(高)	4通	2								1
	教育実習(栄養)	4通	1								1
	教職実践演習(中・高)	4後	2								2
教職実践演習(栄養)	4後	2			1					1	
小計(21科目)			0	36	0	1					12
合計(194科目)			97	294	0	7	1	4			173

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】 本学に4年以上在学し、共通教育科目24単位以上、専門教育科目88単位以上を満たし、124単位以上を修得すること。
 【履修方法】 共通教育科目は、「人間教育基礎科目」区分より4単位以上、「人間教育演習科目」区分より2単位以上修得する。(履修科目の登録の上限)44単位(年間)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・ 専任教員の採用により「食品衛生学」の教員配置を「教授1」から「教授1・准教授1」に変更、「食品衛生学実験」の教員配置を「教授1・兼任3」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・ 兼任の教授採用により「公衆衛生学Ⅰ」「公衆衛生学Ⅱ」の教員配置を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・ 時間割設定の都合により、「生物有機化学」は「兼任1」から「教授1」に変更、「基礎調理学実習」は「兼任2」から「兼任1」に変更、「応用調理学実習」は「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・ 兼任教員の採用辞退により「食品機器分析化学実験」の担当分担を変更し、「教授2・兼任1・兼任3」から「教授2・兼任1・兼任4」に変更。
- ・ 「総合栄養学演習Ⅲ」は専任教員(特任)の業務負担減のため担当者入れ替えがあり、「教授5・准教授1・講師1・兼任5」から「教授4・准教授2・講師1・兼任7」に変更。
- ・ 「管理栄養士応用演習Ⅰ」「管理栄養士応用演習Ⅱ」「卒業論文」は専任教員の採用および特任への切り替えのため、専任教員等の配置人数を変更。

- ・ 教育職員免許法施行規則の改正に伴い「教育におけるICT活用」(単位数選択1、配当年次2後)を新設。
- ・ 教育におけるICT活用「単位数選択1、配当年次2後」の新設したことに伴い、教育方法論の単位数を「2」から「1」、配当年次を「3前」から「2前」へ変更。

- ・ 「AI戦略2019」において、数理・データサイエンス・AI教育の重要性が指摘されたことを受け、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の認定を受けるべく、「データサイエンス基礎」を新設。

- ・ 共通教育科目区分に含まれる「教職関連科目」区分の名称を「教職課程科目」へ変更。
- ・ 科目区分「教職に関する科目」の名称を「教職課程科目」へ変更。

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
60 科目	132 科目	科目	192 科目	60 科目 []	134 科目 [2]	科目 []	194 科目 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{192} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	<ul style="list-style-type: none"> 校地敷地は東京家政大学短期大学部（必要面積4,000㎡）と共用 運動場用地は東京家政大学短期大学部及び附属女子高等学校（収容人数：1,080人、面積基準8,400㎡）と共用 その他は学寮、保育所遊戯場敷地 ・中高校舎を大短共用校舎敷地に用途変更 1,668㎡増減(4) ・学寮敷地を大短共用校舎敷地に用途変更 1,057㎡増減(4) 			
	校舎敷地	28,152 ㎡	65,058 ㎡ 62,333 ㎡	15,639 ㎡ 17,307 ㎡	108,849 ㎡ 107,792 ㎡				
	運動場用地	— ㎡	54,130 ㎡	7,703 ㎡	61,833 ㎡				
	小計	28,152 ㎡	119,188 ㎡ 116,463 ㎡	23,342 ㎡ 25,010 ㎡	170,682 ㎡ 169,625 ㎡				
	その他	— ㎡	0 ㎡ 1,057 ㎡	1,000 ㎡	1,000 ㎡ 2,057 ㎡				
	合計	28,152 ㎡	119,188 ㎡ 117,520 ㎡	24,342 ㎡ 26,010 ㎡	171,682 ㎡				
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	<ul style="list-style-type: none"> 東京家政大学短期大学部（必要面積4,000㎡）と共用 ・中高校舎を大学専用、大短共用へ変更(4) ・用途変更・教員入替による増減(4) 				
	40,379 ㎡ 40,301 ㎡ (40,379 ㎡) —(40,301 ㎡)	44,638 ㎡ 44,138 ㎡ (44,638 ㎡) —(44,138 ㎡)	1,871 ㎡ 2,017 ㎡ (1,871 ㎡) —(2,017 ㎡)	86,888 ㎡ 86,456 ㎡ (86,888 ㎡) —(86,456 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大学全体 ・用途変更による増減(4) 			
	57 室 -58 室	14 室 13 室	274 室 275 室	7 室 (補助職員 -人)	1 室 (補助職員 -人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数			<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用により1室増(4) 			
	栄養学部		24 23 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	<ul style="list-style-type: none"> 大学全体での共用分 図書 512,981冊 [85,862冊] 601,162冊 [84,823冊] —学術雑誌 534種 [33種] 661種 [45種] —電子ジャーナル 11,033種 [9,432種] 11,028種 [9,469種] —視聴覚資料 4,835点 4,709点—(4) ・図書、視聴覚資料は新規受入による増(4) ・機械・器具は実績による減(4) 	
	栄養学部	61,992 [6,943] (58,006 [6,646]) —(56,592 [6,343])	97 [17] (97 [17])	16 [16] (16 [16])	571 (552) —(551)	304 330 (330)	2 (2)		
	計	61,992 [6,943] (56,592 [6,343])	97 [17] (97 [17])	16 [16] (16 [16])	571 (551)	304 330 (330)	2 (2)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数						
	6,733 ㎡	809席	611,288冊 606,188冊						
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	4,366 ㎡	テニスコート 7 面 ゴルフパター練習場 1ヶ所							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教員研究費と研究旅費の区別はなく、教授・准教授・講師ともに同額（助教は半額）。旅費の使用限度額はなし。 ・教員研究費と別に教育研究維持充実費がありその中の一部—(170千円/人)—科別研究費215,000円/人が教育研究に支出できる。 ・共同研究費は申請に基づき、協議会審査委員会（委員長：学長）で審査・配分するし、協議会に報告する。 ・図書購入費の変更は見積もりと実績の差による。(4)
		教員1人当り研究費等	315千円	315千円	図書購入費	17,953千円	17,953千円	17,953千円	
		共同研究費等	18,500千円	18,500千円	設備購入費	41,617千円 66,401千円	15,662千円 66,401千円	64,979千円 66,401千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,385千円	1,165千円	1,165千円	1,165千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ 昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京家政大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
家政学部	4	665	3年次26人	2,712	-	1.05	1.07		昭和24	東京都板橋区加賀1丁目18番1号	
児童学科	4	105	5	430	学士(家政学)	1.08	1.16		昭和45		
児童学専攻	4	105	5	430	学士(家政学)	0.97	1.04		平成14		
育児支援専攻	4	85	5	350	学士(家政学)	1.06	1.11		平成21		
児童教育学科	4	-	-	-	学士(家政学)	-	-		昭和40		令和4年度より学生募集停止
栄養学科	4	-	-	-	学士(家政学)	-	-		昭和40		令和4年度より学生募集停止
管理栄養士専攻	4	-	-	-	学士(家政学)	-	-		昭和40		
服飾美術学科	4	175	5	710	学士(家政学)	1.04	1.06		昭和46		
環境教育学科	4	75	5	310	学士(家政学)	0.90	0.74		平成9		
造形表現学科	4	120	1	482	学士(家政学)	1.13	1.19		平成15		
栄養学部	4	280	15	1,150	-				令和4	東京都板橋区加賀1丁目18番1号	
栄養学科	4	120	5	490	学士(栄養学)	1.06	1.06		令和4		
管理栄養学科	4	160	10	660	学士(栄養学)	1.08	1.08		令和4		
人文学部	4	270	3年次15人	1,110	-	1.02	1.05		平成21	東京都板橋区加賀1丁目18番1号	
英語コミュニケーション学科	4	120	5	490	学士(文学)	0.92	0.90		昭和61		
心理カウンセリング学科	4	80	5	330	学士(文学)	1.09	1.13		平成21		
教育福祉学科	4	70	5	290	学士(文学)	1.10	1.20		平成21		
健康科学部	4	180	-	720	-	1.08	1.19		平成30	埼玉県狭山市稲荷山2丁目15番地の1	
看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.07	1.10		平成26		
リハビリテーション学科	4	40	-	160	学士(作業療法学)	0.93	1.05		平成30		
作業療法学専攻	4	40	-	160	学士(理学療法学)	1.25	1.57		平成30		
理学療法学専攻	4	120	-	480	-	0.96	0.99		平成26	埼玉県狭山市稲荷山2丁目15番地の1	
子ども学部	4	120	-	480	学士(子ども学)	0.96	0.99		平成26		
子ども支援学科	4	120	-	480	-	0.96	0.99		平成26		
大学全体	-	1,515	56	6,172	-	1.04	1.07	-	-	-	

大学の名称	東京家政大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間生活学総合研究科										東京都板橋区加賀1丁目18番1号	
(博士後期課程)人間生活学専攻	3	3	-	9	博士(学術)	1.10	1.00		平成24		
(修士課程)児童学児童教育学専攻	2	5	-	10	修士(家政学)	0.40	0.20		平成24		
健康栄養学専攻	2	5	-	10	修士(健康栄養学)	1.50	1.80		平成24		
造形学専攻	2	4	-	8	修士(家政学)	0.50	0.75		平成24		
英語・英語教育研究専攻	2	4	-	8	修士(文学)	0.37	0.50		平成24		
臨床心理学専攻	2	8	-	16	修士(心理学)	1.18	1.25		平成24		
教育福祉学専攻	2	4	-	8	修士(学術)	0.00	0.00		平成24		
大学院全体	-	33		69	-	0.72	0.78	-	-	-	

大学の名称	東京家政大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
保育科	2	120	-	240	短期大学士(保育)	0.78	0.91	-	昭和37	東京都板橋区加賀1丁目18番1号	
栄養科	2	80	-	160	短期大学士(栄養)	0.86	1.05	-	昭和37		
短期大学部全体	-	200	-	400	-	0.81	0.97	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<栄養学部 管理栄養学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小西 康子 <令和4年4月> 農学博士
		生化学概論 生体分子代謝学
専	特任教授	小西 康子 <令和6年4月> 農学博士
		生化学概論 生体分子代謝学 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	教授	田中 寛 <令和4年4月> 博士(学術)
		自主講座A 臨床栄養学総論 栄養療法論 栄養療法実習
専	特任教授	田中 寛 <令和7年4月> 博士(学術)
		自主講座A 臨床栄養学総論 栄養療法論 栄養療法実習 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小西 康子 <令和4年4月> 農学博士
		生化学概論 生体分子代謝学 生物有機化学 基礎ゼミナール
専	特任教授	小西 康子 <令和6年4月> 農学博士
		生化学概論 生体分子代謝学 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 生物有機化学
専	教授	田中 寛 <令和4年4月> 博士(学術)
		自主講座A 臨床栄養学総論 栄養療法論 栄養療法実習
専	特任教授	田中 寛 <令和7年4月> 博士(学術)
		自主講座A 臨床栄養学総論 栄養療法論 栄養療法実習 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 淳之 <令和4年4月> 博士(学術)
		自主講座B 生化学実験 栄養生化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
専	教授	尾形 真規子 <令和5年4月> 博士(医学)
		臨床代謝学Ⅰ 臨床代謝学Ⅱ 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	教授	加藤 由美子 <令和5年4月> 修士(保健学)
		キャリアデザイン 給食経営管理学Ⅰ 給食経営管理実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 教職実践演習(栄養) 卒業論文
専	教授	佐藤 吉朗 <令和4年9月> 農学博士
		化学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大西 淳之 <令和4年4月> 博士(学術)
		自主講座B 生化学実験 栄養生化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
専	教授	尾形 真規子 <令和4年4月> 博士(医学)
		臨床代謝学Ⅰ 臨床代謝学Ⅱ 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文 スタートアップセミナー自主自律
専	教授	加藤 由美子 <令和5年4月> 修士(保健学)
		キャリアデザイン 給食経営管理学Ⅰ 給食経営管理実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 教職実践演習(栄養) 卒業論文
専	教授	佐藤 吉朗 <令和4年9月> 農学博士
		化学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和田 涼子 <令和4年9月> 家政学士
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ
専	特任教授	和田 涼子 <令和7年4月> 家政学士
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	准教授	岸 昌代 <令和4年9月> 修士(スポーツ科学)
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学実習 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	講師	古茂田 恵美子 <令和4年4月> 学士(家政学)
		基礎ゼミナール 微生物学 微生物学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 生物学実験 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	和田 涼子 <令和4年9月> 家政学士
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ
専	特任教授	和田 涼子 <令和7年4月> 家政学士
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	准教授	岸 昌代 <令和4年9月> 修士(スポーツ科学)
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学実習 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	准教授	宮 聡子 <令和5年9月> 博士(海洋科学)
		食品衛生学 食品衛生学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	講師	古茂田 恵美子 <令和5年4月> 学士(家政学)
		微生物学 微生物学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 生物学実験 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	関目 綾子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		情報活用 栄養教育実践情報演習 基礎栄養学実験 卒業論文
専	講師	秋山 隆 ＜令和5年4月＞ 博士(薬学)
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
専	講師	伊藤 智子 ＜令和6年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		総合栄養学演習Ⅰ 総合栄養学演習Ⅱ 臨地実習A 臨地実習B(給食運営実習) 臨地実習C(臨床栄養士実習)
兼任	教授	阿部 藤子 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	関目 綾子 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		情報活用 栄養教育実践情報演習 基礎栄養学実験 卒業論文
専	講師	伊藤 智子 ＜令和6年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		総合栄養学演習Ⅰ 総合栄養学演習Ⅱ 臨地実習A 臨地実習B(給食運営実習) 臨地実習C(臨床栄養士実習)
専	講師	内堀 佳子 ＜令和4年4月＞ 農学修士
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ
兼任	教授	岩崎 美智子 ＜令和4年4月＞ 社会学修士
		スタートアップセミナー自主自律

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	石塚 倫子 ＜令和4年4月＞ 文学修士 スタートアップセミナー自主自律

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高野 貴子 ＜令和4年4月＞ 医学博士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	平山 祐一郎 ＜令和4年4月＞ 博士(心理学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	半澤 嘉博 ＜令和4年4月＞ 博士(学術) スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	高水 伸子 ＜令和4年4月＞ 家政学修士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	榎沢 良彦 ＜令和4年4月＞ 教育学修士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	有馬 十三郎 ＜令和4年4月＞ 芸術学修士 スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	中込 由美 ＜令和4年4月＞ 修士(老年学) スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	平川 俊功 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学) スタートアップセミナー自主自律

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大井 龍 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		社会と文化E
兼任	教授	太田 一樹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		キャリアデザイン 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	教授	太田 洋 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修D 語学研修E 語学研修F
兼任	教授	大橋 憲広 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 社会と文化L
兼任	教授	木村 博人 ＜令和4年4月＞ 体育学修士
		スタートアップセミナー自主自律 実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB
兼任	教授	金城 悟 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律 実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大井 龍 ＜令和4年4月＞ 学術博士
		社会と文化E
兼任	教授	太田 一樹 ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	教授	太田 洋 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		語学研修A 語学研修B 語学研修C 語学研修D 語学研修E 語学研修F
兼任	教授	大橋 憲広 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		日本国憲法 社会と文化L
兼任	教授	木村 博人 ＜令和4年4月＞ 体育学修士
		実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB
兼任	教授	金城 悟 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		実践力養成セミナーA 自然とスポーツA 自然とスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	是澤 優子 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		子どもの世界
兼任	教授	笹井 邦彦 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	澤田 めぐみ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律 女性の健康 病態学実習 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	教授	田中 恵美子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会と文化F
兼任	教授	都築 和香子 ＜令和4年9月＞ 博士(農学)
		食品学総論 食品学各論 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	手嶋 尚人 ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	是澤 優子 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		子どもの世界
兼任	教授	笹井 邦彦 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	澤田 めぐみ ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		スタートアップセミナー自主自律 女性の健康 病態学実習 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	教授	田中 恵美子 ＜令和4年4月＞ 博士(社会福祉学)
		社会と文化F
兼任	教授	都築 和香子 ＜令和4年9月＞ 博士(農学)
		食品学総論 食品学各論 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ
兼任	教授	手嶋 尚人 ＜令和4年4月＞ 芸術学修士
		人間と学びG

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鍋谷 浩志 ＜令和6年9月＞ 博士(工学)
		食品加工学 食品加工学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	新関 隆 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		社会と文化E
兼任	教授	走井 洋一 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律 道徳教育の理論と方法
兼任	教授	花輪 充 ＜令和4年4月＞ 修士(人間学)
		人間と学びE
兼任	教授	福井 至 ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	教授	細田 淳子 ＜令和4年4月＞ 学士(芸術)
		スタートアップセミナー自主自律 人間と学びD

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	鍋谷 浩志 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		食品加工学 食品加工学実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文 自主講座A
兼任	教授	新関 隆 ＜令和4年4月＞ 理学博士
		社会と文化E データサイエンス基礎
兼任	教授	走井 洋一 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律 道徳教育の理論と方法
兼任	教授	花輪 充 ＜令和4年4月＞ 修士(人間学)
		人間と学びE
兼任	教授	細田 淳子 ＜令和4年4月＞ 学士(芸術)
		人間と学びD

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	谷田 恵司 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		スタートアップセミナー自主自律 人間と学びC
兼任	教授	結城 孝雄 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		人間と学びK
兼任	准教授	赤石 記子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		調理科学実験 卒業論文
兼任	准教授	梅谷 千代子 ＜令和4年4月＞ 教育学士
		女性の健康 社会と文化D からだとスポーツA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	丸山 浩 ＜令和5年9月＞ 博士（医学）
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 医療福祉論 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	教授	谷田 恵司 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		人間と学びC
兼任	教授	結城 孝雄 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		人間と学びK
兼任	教授	小池 新 ＜令和4年4月＞ 博士（工学），理学修士
		データサイエンス基礎
兼任	准教授	赤石 記子 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		調理科学実験 卒業論文 キャリアデザイン
兼任	准教授	梅谷 千代子 ＜令和4年4月＞ 教育学士
		スタートアップセミナー自主自律 女性の健康 社会と文化D からだとスポーツA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宇和川 小百合 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		キャリア形成支援講座 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	准教授	加藤 和子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎ゼミナール スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	准教授	小林 理恵 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		調理学 基礎調理学実習 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	准教授	酒井 藤恵 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		社会と文化B
兼任	准教授	佐藤 隆弘 ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）
		人間と学びA
兼任	准教授	沢尾 絵 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	鈴木 繁幸 ＜令和4年4月＞ 外国語としての英語修士
		日本事情

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	宇和川 小百合 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		スタートアップセミナー自主自律 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	加藤 和子 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		基礎ゼミナール スタートアップセミナー自主自律 人間と学びG 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	小林 理恵 ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		調理学 基礎調理学実習 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	准教授	酒井 藤恵 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		社会と文化B
兼任	准教授	佐藤 隆弘 ＜令和4年4月＞ 博士（人間科学）
		人間と学びA
兼任	准教授	鈴木 繁幸 ＜令和4年4月＞ 外国語としての英語修士
		日本事情

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	曾根 博美 ＜令和4年4月＞ 修士（臨床心理・カウンセリング）
		芸術論 社会と文化M 実践力養成セミナーB
兼任	准教授	田頭 憲二 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	田中 早苗 ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	寺田 恭子 ＜令和4年4月＞ 家政学士
		ライフデザイン入門
兼任	准教授	富谷 智 ＜令和4年4月＞ 造形学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	並木 有希 ＜令和4年4月＞ 博士（英語学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	長谷川 望 ＜令和4年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		自然とスポーツA 自然とスポーツB からだとスポーツA からだとスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	曾根 博美 ＜令和4年4月＞ 修士（臨床心理・カウンセリング）
		芸術論 社会と文化M
兼任	准教授	田頭 憲二 ＜令和4年4月＞ 博士（教育学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	寺田 恭子 ＜令和4年4月＞ 家政学士
		ライフデザイン入門
兼任	准教授	並木 有希 ＜令和4年4月＞ 博士（英語学）
		社会と文化A
兼任	准教授	長谷川 望 ＜令和4年4月＞ 修士（スポーツ健康科学）
		自然とスポーツA 自然とスポーツB からだとスポーツA からだとスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	春田 和男 ＜令和4年4月＞ 修士（図書館情報学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	二川 正浩 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		特別活動の指導法 生徒・進路指導論
兼任	准教授	松岡 洋子 ＜令和4年4月＞ 博士（社会福祉学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	松本 なるみ ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宮本 康司 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宮本 真帆 ＜令和4年4月＞ 学術学士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	森田 浩章 ＜令和4年4月＞ 教育学士
		人間と学びD
兼任	准教授	渡部 晃正 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育制度論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	春田 和男 ＜令和4年4月＞ 修士（図書館情報学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	二川 正浩 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		特別活動の指導法 生徒・進路指導論
兼任	准教授	宮本 康司 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	宮本 真帆 ＜令和4年4月＞ 学術学士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	森田 浩章 ＜令和4年4月＞ 教育学士
		人間と学びD
兼任	教授	渡部 晃正 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育制度論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	天野 美穂子 ＜令和4年4月＞ 修士（国際コミュニケーション）
		社会と文化N

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	堀 科 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	山崎 洋子 ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	吉野 康子 ＜令和4年4月＞ 国際学修士(英語教育)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	准教授	根本 貴行 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	天野 美穂子 ＜令和4年4月＞ 修士（国際コミュニケーション）
		社会と文化N データサイエンス基礎
兼任	講師	鈴木 彬子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	大塚 彩美 ＜令和4年4月＞ 博士(環境学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	岩治 まとか ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		スタートアップセミナー自主自律

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Allie Spencer Patterson ＜令和5年4月＞ 修士（TESOL）
		英語ⅡA 英語上級B
兼任	講師	色川 木綿子 ＜令和6年4月＞ 修士（家政学）
		給食経営管理実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	講師	海老塚 広子 ＜令和4年4月＞ 修士（家政学）
		基礎ゼミナール 食品化学実験Ⅰ 食品化学実験Ⅱ 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	講師	大木 敦子 ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	助教	岡本 恵 ＜令和4年4月＞ 修士（家政学）
		人間と学びD
兼任	講師	小原 弥生 ＜令和5年4月＞ 修士（英語教育学）
		英語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	AhRan Ellie Bae ＜令和4年4月＞ 博士（社会デザイン学）
		英語ⅠA 英語上級B
兼任	講師	色川 木綿子 ＜令和6年4月＞ 修士（家政学）
		給食経営管理実習 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文 総合栄養学演習Ⅲ
兼任	講師	海老塚 広子 ＜令和6年4月＞ 修士（家政学）
		食品化学実験Ⅰ 食品化学実験Ⅱ 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 管理栄養士応用演習Ⅲ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	講師	大木 敦子 ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	助教	岡本 恵 ＜令和4年4月＞ 修士（家政学）
		人間と学びD
兼任	講師	小原 弥生 ＜令和5年4月＞ 修士（英語教育学）
		英語ⅡB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 真希 ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		人間と学びG
兼任	講師	Kelly Cargos ＜令和4年4月＞ 修士（言語学）
		英語 I A 英語 II A
兼任	講師	小林 忠好 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		英語 I B
兼任	講師	齊藤 和貴 ＜令和4年4月＞ 博士（人間学）
		人間と学び I
兼任	講師	酒井 亮征 ＜令和4年4月＞ 修士（応用言語学）
		英語 I A 英語上級 A
兼任	講師	渋沢 優介 ＜令和5年4月＞ 修士（英語コミュニケーション）
		英語 II B
兼任	講師	瀬上 和典 ＜令和4年4月＞ 修士（英文学）
		英語 I B
兼任	講師	田村 恵美 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		総合的な学習の時間の指導法 教育方法論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金子 真希 ＜令和4年4月＞ 学士（家政学）
		スタートアップセミナー-自主自律 人間と学びG
兼任	講師	Kelly Cargos ＜令和4年4月＞ 修士（言語学）
		英語 I A 英語 II A
兼任	講師	小林 忠好 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		英語 I B
兼任	講師	齊藤 和貴 ＜令和4年4月＞ 博士（人間学）
		人間と学び I
兼任	講師	酒井 亮征 ＜令和4年4月＞ 修士（応用言語学）
		英語 I A 英語 II A 英語上級 A
兼任	講師	渋沢 優介 ＜令和5年4月＞ 修士（英語コミュニケーション）
		英語 II B
兼任	講師	瀬上 和典 ＜令和4年4月＞ 修士（英文学）
		英語 I B
兼任	講師	田村 恵美 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		総合的な学習の時間の指導法 教育方法論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	檀浦 麻衣 ＜令和4年4月＞ 修士(MSc)イギリス
		英語 I B
兼任	講師	Tom Edwards ＜令和4年4月＞ 修士(英語教授法)
		社会と文化 A
兼任	講師	中尾 浩康 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		教養としての歴史
兼任	講師	中野 悠稀 ＜令和4年4月＞ 修士(異文化コミュニケーション)
		英語 I B 英語 II B
兼任	講師	平野 真理 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		人間と学び L
兼任	講師	町村 貴子 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		英語 I B 英語 II B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	関根 全宏 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語 I B
兼任	講師	中尾 浩康 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		教養としての歴史
兼任	講師	今村 有里 ＜令和4年4月＞ 修士(TEFL/TESL)
		英語 I B 英語 II B
兼任	講師	平野 真理 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		人間と学び L

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	
兼任	講師	宮 祐子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	三宅 ひろ子 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション)
		英語ⅡB
兼任	講師	三輪 緑 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		英語ⅠB
兼任	講師	相澤 菜穂子 ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びB
兼任	講師	青木 寿史 ＜令和5年9月＞ 学士(教育)
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験 地球環境

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	萱原 真希 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		英語ⅠB 英語ⅡB
兼任	講師	宮 祐子 ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	三宅 ひろ子 ＜令和5年4月＞ 修士(国際コミュニケーション)
		英語ⅡB
兼任	講師	三輪 緑 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		英語ⅠB
兼任	講師	鈴木 由子 ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	相澤 菜穂子 ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びB
兼任	講師	青木 寿史 ＜令和4年4月＞ 学士(教育)
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験 地球環境 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学実験 教職実践演習(中・高)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Arnel Francis Vera Morales ＜令和5年4月＞ 博士(Applied Linguistics)
		英語ⅡA
兼任	講師	李 倫妃 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	池田 隼 ＜令和4年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	石原 賢司 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生命科学
兼任	講師	今井 信治 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		コミュニケーション論入門
兼任	講師	岩佐 靖夫 ＜令和4年4月＞ 修士(国際文化)
		日本のことばと文化ⅠA 日本のことばと文化ⅡA
兼任	講師	上田 卓司 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		統計学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Arnel Francis Vera Morales ＜令和5年4月＞ 博士(Applied Linguistics)
		英語ⅡA
兼任	講師	李 侖姫 ＜令和4年4月＞ 博士(社会学)
		社会学入門
兼任	講師	村上 光輝 ＜令和4年4月＞ スポーツ健康科学修士
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	石原 賢司 ＜令和4年4月＞ 博士(農学)
		生命科学
兼任	講師	今井 信治 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		コミュニケーション論入門
兼任	講師	岩佐 靖夫 ＜令和4年4月＞ 修士(国際文化)
		日本のことばと文化ⅠA 日本のことばと文化ⅡA
兼任	講師	上田 卓司 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		統計学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内野 美恵 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人間と学びB
兼任	講師	鵜殿 篤 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論 教育課程論
兼任	講師	遠藤 修平 ＜令和4年9月＞ 修士(教育学)
		教職基礎論
兼任	講師	太田 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		女性の健康
兼任	講師	岡田 佳織 ＜令和6年4月＞ 学士(食物学)
		給食経営管理実習
兼任	講師	荻島 大凱 ＜令和4年4月＞ 修士(人間科学)
		心理学入門
兼任	講師	小野 あさよ ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		ドイツ語Ⅱ
兼任	講師	片岡 雅和 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		自然といのちH

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内野 美恵 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		人間と学びB
兼任	講師	鵜殿 篤 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論 教育課程論 教育におけるICT活用
兼任	講師	太田 大介 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		女性の健康
兼任	講師	岡田 佳織 ＜令和6年4月＞ 学士(食物学)
		給食経営管理実習
兼任	講師	荻島 大凱 ＜令和4年4月＞ 博士 (人間科学)
		心理学入門
兼任	講師	片岡 雅和 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		自然といのちH

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 浩子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		芸術論
兼任	講師	金子 誠二 ＜令和6年9月＞ 獣医学博士
		食品衛生学実験
兼任	講師	岸 秀忠 ＜令和5年4月＞ 修士（スポーツ健康学）
		体育と健康
兼任	講師	北原 澄高 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		実践力養成セミナーA
兼任	講師	木村 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		中国語 I
兼任	講師	Christian M G Steger ＜令和4年4月＞ 修士（言語学・文芸学）
		ドイツ語 I
兼任	講師	栗田 勝実 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		物理学 I 物理学 II 物理学実験
兼任	講師	小泉 昌子 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食品機器分析化学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 浩子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		芸術論
兼任	講師	岸 秀忠 ＜令和5年4月＞ 修士（スポーツ健康学）
		体育と健康
兼任	講師	北原 澄高 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		実践力養成セミナーA
兼任	講師	木村 佳代子 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		中国語 I
兼任	講師	Christian M G Steger ＜令和4年4月＞ 修士（言語学・文芸学）
		ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	小泉 昌子 ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食品機器分析化学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 直子 ＜令和4年4月＞ 学士（社会福祉）
		社会と文化F
兼任	講師	小関 勇次 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		自然といのちD
兼任	講師	小谷 量子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		社会と文化J
兼任	講師	金胎 芳子 ＜令和6年4月＞ 博士（栄養学）
		応用栄養学Ⅲ
兼任	講師	今場 司朗 ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		生物有機化学
兼任	講師	Simon Evans ＜令和4年4月＞ 修士（英語教授法）
		英語 I A
兼任	講師	佐々木 圭 ＜令和4年4月＞ 修士（体育科学）
		からだとスポーツA からだとスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小島 直子 ＜令和4年4月＞ 学士（社会福祉）
		社会と文化F
兼任	講師	小関 勇次 ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		自然といのちD
兼任	講師	小谷 量子 ＜令和4年4月＞ 博士（文学）
		社会と文化J
兼任	講師	金胎 芳子 ＜令和6年4月＞ 博士（栄養学）
		応用栄養学Ⅲ
兼任	講師	Simon Evans ＜令和4年4月＞ 修士（英語教授法）
		英語 I A
兼任	講師	佐々木 圭 ＜令和4年4月＞ 体育科学修士
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	笹本 剛生 ＜令和7年4月＞ 博士（獣医学）
		食品機器分析化学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 康富 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		自然といのちB
兼任	講師	Travis West ＜令和5年4月＞ 修士（応用言語学）
		英語ⅡA
兼任	講師	塩入 輝恵 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		ライフデザイン入門 栄養教諭総論 栄養教諭各論 教育実習事前事後指導（栄養） 教育実習（栄養） 教職実践演習（栄養） 卒業論文
兼任	講師	重村 泰毅 ＜令和5年9月＞ 博士（農学）
		食品機能論 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文
兼任	講師	清水 聡 ＜令和4年4月＞ 博士（政治学）
		社会と文化G 社会と文化O
兼任	講師	Jonathan Buck ＜令和4年4月＞ 修士（言語学）
		英語ⅠA

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 康富 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		自然といのちB
兼任	講師	Hoang Khanh Chi Truong ＜令和5年4月＞ 修士（MSc）化学工学
		英語ⅡA
兼任	講師	塩入 輝恵 ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		ライフデザイン入門 栄養教諭総論 栄養教諭各論 教育実習事前事後指導（栄養） 教育実習（栄養） 教職実践演習（栄養） 卒業論文
兼任	講師	重村 泰毅 ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		食品機能論 食品機器分析化学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 卒業論文 基礎ゼミナール
兼任	講師	清水 聡 ＜令和4年4月＞ 博士（政治学）
		社会と文化G 社会と文化O

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	城田 直子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		応用栄養学Ⅱ
兼任	講師	杉本 真紀子 ＜令和7年4月＞ 教職修士
		教育実習(中) 教育実習(高) 教育実習事前事後指導(中・高)
兼任	講師	鈴木 隆 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	角南 祐子 ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ
兼任	講師	関口 雄祐 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		自然といのちC
兼任	講師	瀬山 紀子 ＜令和4年4月＞ 修士(社会科学)
		多様な社会を生きる 社会と文化C
兼任	講師	高橋 加代子 ＜令和5年9月＞ 医療福祉経営学博士
		給食経営管理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Esther Kotiyal ＜令和4年4月＞ 修士(中国政治学)
		英語ⅠA
兼任	講師	城田 直子 ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		応用栄養学Ⅱ
兼任	講師	杉本 真紀子 ＜令和4年4月＞ 教職修士
		教育実習(中) 教育実習(高) 教育実習事前事後指導(中・高) 教職基礎論
兼任	講師	鈴木 隆 ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		スタートアップセミナー自主自律
兼任	講師	角南 祐子 ＜令和7年4月＞ 修士(スポーツ健康科学)
		管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ
兼任	講師	関口 雄祐 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		自然といのちC
兼任	講師	瀬山 紀子 ＜令和4年4月＞ 社会科学修士
		多様な社会を生きる 社会と文化C
兼任	講師	高橋 加代子 ＜令和5年9月＞ 医療福祉経営学博士
		給食経営管理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 孝代 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		社会と文化Ⅰ
兼任	講師	竹下 和亮 ＜令和5年4月＞ 修士(地域文化学)
		フランス語Ⅱ
兼任	講師	田地 陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		栄養生理学実験 運動生理学 卒業論文
兼任	講師	玉川 さやか ＜令和4年4月＞ 修士(Choreography)(イギリス)
		人間と学びE
兼任	講師	池 凰花 ＜令和4年4月＞ 修士(朝鮮語学)
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	全 恵子 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		コリア語Ⅰ
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	高橋 孝代 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		社会と文化Ⅰ
兼任	講師	竹下 和亮 ＜令和5年4月＞ 修士(地域文化学)
		フランス語Ⅱ
兼任	講師	田地 陽一 ＜令和6年4月＞ 博士(医学)
		栄養生理学実験 運動生理学 卒業論文
兼任	講師	鴨志田 加奈 ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		人間と学びE
兼任	講師	池 凰花 ＜令和4年4月＞ 修士(朝鮮語学)
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	金 英周 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		コリア語Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蔡 熙鏡 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学)
		코리아語 I
兼任	講師	張 佳恵 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語 I
兼任	講師	辻 陽一 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		物理学統計解析演習
兼任	講師	土屋 京子 ＜令和4年9月＞ 修士(学術)
		基礎調理学実習 応用調理学実習 卒業論文
兼任	講師	田 媛 ＜令和4年4月＞ 博士(社会科学)
		ジェンダー論に学ぶ
兼任	講師	土肥原 洋 ＜令和4年4月＞ 学士(経済)
		経済学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	蔡 熙鏡 ＜令和4年4月＞ 博士(言語学)
		코리아語 I
兼任	講師	張 佳恵 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語 I
兼任	講師	辻 陽一 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		物理学統計解析演習
兼任	講師	土屋 京子 ＜令和6年9月＞ 修士(学術)
		応用調理学実習 卒業論文
兼任	講師	郭 麗娟 ＜令和4年4月＞ 博士(社会科学)
		ジェンダー論に学ぶ
兼任	講師	江本 伸哉 ＜令和4年4月＞ 修士(都市ビジネス)
		経済学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	戸金 大 ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		自然といのちE
兼任	講師	Nathan George Olson ＜令和4年4月＞ 修士（TESOL）
		英語 I A
兼任	講師	中尾 暁 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		自然といのちF
兼任	講師	中島 和歌子 ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		社会と文化H
兼任	講師	中野 重雄 ＜令和5年4月＞ 修士（英文学）
		英語 II B
兼任	講師	中村 晃 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		教育心理学
兼任	講師	中村 薫 ＜令和5年4月＞ 修士（家政学）
		教育相談の理論と方法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	戸金 大 ＜令和4年4月＞ 博士（農学）
		自然といのちE
兼任	講師	Nathan George Olson ＜令和4年4月＞ 修士（TESOL）
		英語 I A
兼任	講師	中尾 暁 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		自然といのちF
兼任	講師	中島 和歌子 ＜令和4年4月＞ 修士（文学）
		社会と文化H
兼任	講師	山口 敦子 ＜令和5年4月＞ 修士（TESOL）
		英語 II B
兼任	講師	中村 晃 ＜令和5年9月＞ 博士（人間科学）
		教育心理学
兼任	講師	中村 薫 ＜令和5年4月＞ 修士（家政学）
		教育相談の理論と方法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 純一 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		人間と学びJ
兼任	講師	中島 晋也 ＜令和7年4月＞ 博士(工学)
		食品機器分析化学実験
兼任	講師	奈良 洋希 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		自然といのちA
兼任	講師	西貝 百悦 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		中国語 I
兼任	講師	沼田 憲治 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		フランス語 I
兼任	講師	野上 遊夏 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律 教職実践演習(中・高)
兼任	講師	野崎 有以 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		家政学原論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中山 純一 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		人間と学びJ
兼任	講師	奈良 洋希 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		自然といのちA
兼任	講師	劉 時珍 ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		中国語 I
兼任	講師	沼田 憲治 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		フランス語 I
兼任	講師	野上 遊夏 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		スタートアップセミナー自主自律 教職実践演習(中・高)
兼任	講師	野崎 有以 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		家政学原論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	信方 壽幸 ＜令和4年9月＞ 学士（教育学）
		特別支援教育概論
兼任	講師	長谷川 順子 ＜令和6年4月＞ 修士（生体情報）
		給食経営管理実習
兼任	講師	林 あつみ ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	講師	林 恵子 ＜令和4年4月＞ 理学博士（動物学）
		いのちと生活
兼任	講師	藤本 浩 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		化学
兼任	講師	藤原 綾 ＜令和5年9月＞ 博士（保健学）
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	半澤 嘉博 ＜令和4年9月＞ 学士（教育学）
		特別支援教育概論
兼任	講師	長谷川 順子 ＜令和6年4月＞ 修士（生体情報）
		給食経営管理実習
兼任	講師	林 あつみ ＜令和4年9月＞ 博士（学術）
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 管理栄養士応用演習Ⅰ 管理栄養士応用演習Ⅱ 総合栄養学演習Ⅲ 卒業論文
兼任	講師	林 恵子 ＜令和4年4月＞ 理学博士（動物学）
		いのちと生活
兼任	講師	藤本 浩 ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		化学
兼任	講師	藤原 綾 ＜令和5年9月＞ 博士（保健学）
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤原 恵美 ＜令和4年4月＞ 修士(日本語教育学)
		日本のことばと文化ⅠB 日本のことばと文化ⅡB
兼任	講師	布施 元 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		環境共生学
兼任	講師	Peichun Angela Han ＜令和4年4月＞ 博士(International Studies)
		英語ⅠA
兼任	講師	洪 順子 ＜令和4年4月＞ 学術修士
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	松澤 綾子 ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びD
兼任	講師	峯尾 幸之介 ＜令和4年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		哲学入門
兼任	講師	宮脇 裕子 ＜令和4年4月＞ 文学修士
		からだとスポーツB

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤原 恵美 ＜令和4年4月＞ 修士(日本語教育学)
		日本のことばと文化ⅠB 日本のことばと文化ⅡB
兼任	講師	布施 元 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		環境共生学
兼任	講師	Peichun Angela Han ＜令和4年4月＞ 博士(International Studies)
		英語ⅠA
兼任	講師	洪 順子 ＜令和4年4月＞ 学術修士
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ
兼任	講師	松澤 綾子 ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		人間と学びD
兼任	講師	松本 衣里 ＜令和7年4月＞ 博士(海洋科学)
		食品機器分析化学実験
兼任	講師	峯尾 幸之介 ＜令和4年4月＞ 修士(国際コミュニケーション学)
		哲学入門

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	向山 大吉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		自然といのちA
兼任	講師	村上 祐子 ＜令和4年4月＞ 博士（哲学）
		自然といのちG
兼任	講師	Mary Jane Mallari ＜令和4年4月＞ 修士（教育学）
		英語ⅡA
兼任	講師	森 ひろみ ＜令和5年9月＞ 学士（家政学）
		基礎栄養学実験
兼任	講師	門間 千枝 ＜令和5年9月＞ 博士（学術）
		公衆衛生学Ⅰ 公衆衛生学Ⅱ 食品衛生学実験
兼任	講師	矢口 明子 ＜令和6年9月＞ 博士（農学）
		医療福祉論（社会福祉概論を含む）
兼任	講師	柳 匡裕 ＜令和4年4月＞ 専門学校
		人間と学びH

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	向山 大吉 ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		自然といのちA
兼任	講師	村上 祐子 ＜令和4年4月＞ 博士（哲学）
		自然といのちG
兼任	講師	Lihn Dieu Pham ＜令和4年4月＞ 修士（TESOL）
		英語ⅡA
兼任	講師	森 ひろみ ＜令和5年4月＞ 学士（家政学）
		基礎栄養学実験
兼任	講師	柳 匡裕 ＜令和4年4月＞ 専門学校
		人間と学びH

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山崎 源太 ＜令和4年4月＞ 修士（体育科学）
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	山田 麻里子 ＜令和5年4月＞ 修士（教育）
		英語ⅡA
兼任	講師	山本 咲子 ＜令和4年4月＞ 修士（社会科学）
		生活経営学
兼任	講師	湯山 玲子 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
		社会と文化M
兼任	講師	吉田 信一郎 ＜令和6年9月＞ 農学修士
		食品衛生学実験
兼任	講師	吉野 裕之 ＜令和4年4月＞ 農学修士
		芸術論 社会と文化K
兼任	講師	吉村 温子 ＜令和4年4月＞ 学士（文学）
		人間と学びE
兼任	講師	渡辺 昭太 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山崎 源太 ＜令和4年4月＞ 修士（体育科学）
		からだとスポーツA からだとスポーツB
兼任	講師	山田 麻里子 ＜令和5年4月＞ 修士（教育）
		英語ⅡA
兼任	講師	山本 咲子 ＜令和4年4月＞ 修士（社会科学）
		生活経営学
兼任	講師	湯山 玲子 ＜令和4年4月＞ 学士（法学）
		社会と文化M
兼任	講師	吉野 裕之 ＜令和4年4月＞ 農学修士
		芸術論 社会と文化K
兼任	講師	吉村 温子 ＜令和4年4月＞ 学士（文学）
		人間と学びE
兼任	講師	渡辺 昭太 ＜令和4年4月＞ 修士（学術）
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 重人 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		人間と学びF
兼任	講師	矢部 えつ子 ＜令和7年4月＞ 学士(体育)
		生徒指導論(栄養教諭)
兼任	講師	青木 幸子 ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		教職実践演習(中・高)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	渡邊 重人 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		人間と学びF
兼任	講師	矢部 えつ子 ＜令和7年4月＞ 学士(体育)
		生徒指導論(栄養教諭)
兼任	講師	青木 幸子 ＜令和7年9月＞ 博士(学術)
		教職実践演習(中・高)
兼任	講師	松瀬 理保 ＜令和4年4月＞ 社会学修士
		実践力養成セミナーB

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入し、その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- | | |
|-----------|--|
| ・小西康子教授 | 1年生担任変更により「基礎ゼミナール」担当追加。兼任・講師の就任辞退により、「生物有機化学」担当追加。 |
| ・尾形真規子教授 | 複数学科合同での開講となる「スタートアップセミナー自主自律」において、授業担当が必要な管理栄養学科の教員数が増加したため、担当追加。 |
| ・宮聡子准教授 | 新規採用。 |
| ・古茂田恵美子講師 | 1年生担任変更により「基礎ゼミナール」担当削除、就任年月変更。 |
| ・内堀佳子講師 | 秋山隆講師の就任辞退により採用。 |

【令和5年度】

--

【令和6年度】

--

【令和7年度】

--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	1	4	0	12	0	2	1	0	0	3	0
(7)	(1)	(4)	(0)	(12)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	2	4	0	13	0	●●	●●	●●	●●	●●	●●
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	0	[]	[]	[]	[]	[]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、
教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、
「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70 歳	0 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
 及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
 教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
 し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{12} = \boxed{108.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	秋山 隆	R3.3	必修	公衆栄養学Ⅰ	①	R4.3 自己都合により就任辞退（R4）						
				必修	公衆栄養学Ⅱ	①							
				必修	公衆栄養学実習	①							
				選択	管理栄養士応用演習Ⅰ	①							
				選択	管理栄養士応用演習Ⅱ	①							
				選択	総合栄養学演習Ⅲ	①							
				選択	卒業論文	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）						
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>年度開始前に後任の採用手続きが済んでいるため学生の履修等への影響はなし。科目担当者はシラバス等で周知。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年)	・〇〇学部〇〇学科において、～を是正すること。	是正意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年)	・同一設置者が設置する既設学部等(◆◆学科)の～改善に努めること。	改善意見	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)	・大学設置基準に抵触するため、改めること。(△△学部△△学科)	指摘事項 (法令違反)	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)	・～については是正すること。	指摘事項 (是正)	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)	・〇〇大学の既設学部等(◆◆学科、●●学科)の～改善に努めること。	指摘事項 (改善)	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<栄養学部 栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学における授業改善、教員の資質の維持向上のための組織的取り組みは、平成15年度の授業評価・授業改善プロジェクトを嚆矢とする。その後、平成16、17年度にはFD委員会準備室、平成18年度から総合教育開発センター・高等教育開発支援部門、平成21年度からFD委員会がその役割を担ってきた。そして、平成26年度には、FD委員会を発展的に継承し、全学の教育活動の改善に向けて組織的かつ継続的に取り組むことを目的とする学修・教育開発センターが発足した。（規程を添付）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

委員会は委員長の招集によって行われ、委員の過半数の出席をもって成立することとしている。（令和3年度実績11回）
令和4年度：学修・教育開発委員会 / 1回開催・委員37名

c 委員会の審議事項等

- ・学科・科のFDに関する事項
- ・事務職員の能力および資質の向上をはかるための組織的研修等SDに関する事項
- ・学生の主体的な学修支援に関する事項
- ・IRに関する事項
- ・全学的な連携と調整に関する事項
- ・その他、学修や教育の改善のために必要と判断される事項

② 実施状況

a 実施内容

教育改善に向けた取組みを多角的な面から以下の通り行っている。（令和3年度実績・令和4年度も同等に計画）

- ①教育革新推進経費予算による研究・開発シリーズ：本学の教育をさらに充実・向上させるために教育方法や教材の研究・開発に対して必要な費用全般を学長が補助する制度を用いた研究の成果を発表するもの。
- ②教職員研究会：FD、SDに係わる取組みをテーマに定め、学内教職員が一堂に介し、7月に基調講演、9月にワークショップを開催する。
- ③近年の大学政策に関する講習会
- ④ハラスメントに関する講習会
- ⑤リサーチウィークス：教職員間の情報共有を目的とし、FDに関するフォーラムや教職員によるポスターセッションなどの種々の催しを約2週間の期間中に行う。
- ⑥授業開発（オンライン授業含む）に関する講習会
- ⑦アセスメントテストに関する報告会
- ⑧障害の理解と対応に関する講習会

b 実施方法

学内の教職員を対象に参加者を募り実施している。講師については、学内教職員が務めるか、または外部から講師を招いている。いずれの内容もグループワークやディスカッションを多く取り入れるなどし、参加者の理解度を深めるものとなっている。また、②教職員研究会では7月の基調講演時に教職員別に事前課題を出し、9月のワークショップまでに課題に取り組む方法をとっている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①R4. 2. 21～3/7 教育改革推進（学長裁量）経費予算による研究・開発の報告（81名）
- ②R3. 7. 15 第1部 東京家政大学の中長期計画の実質化に向けて一目標の共有とPDCAサイクルの実践ー（104名）
R3. 9. 06 第2部 学修成果の可視化に向けて、成績評価の信頼性を高める手法を、アセスメント科目のルーブリック作成を通じて学ぶ（160名）
- ③R3. 12. 23 大学を取り巻く変化とこれらに対応するための戦略的行動（90名）
- ④R3. 9. 30 ハラスメント研修（99名）
- ⑤R4. 2. 14～3/7 オープニングレクチャー 新しい大学教育の創造への取り組み（144名）
FDフォーラム 大学の質保証・学習成果可視化のためのアセスメントプラン（167名）
- ⑥R3. 4. 22 インストラクショナルデザインの考え方を活かしたメディア授業の設計（68名）
R3. 6. 28～8. 31（オンデマンド）e-learning設計（44名）
- ⑦R3. 6. 23 R3. 7. 30 GPS-Academic報告会（154名）
- ⑧R4. 2. 25～3. 31（オンデマンド）てんかんを知る（68名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・上記研修を教員の都合に合ったタイミングで視聴ができ、さらに見返すことも可能となるよう、開催形式を対面の他オンライン・オンデマンドも活用し、授業改善の一助とした。
- ・アセスメントプランやルーブリック等、教員が作成を進める必要があるものについては、上記研修動画の他、作成手引きや作成様式をwebサイトに掲載し、作成の一助とした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全科目を対象に、授業アンケートを実施している。アンケートは、各授業の終了時期に1度実施するものとし、1期終了時期の5月下旬、2期と前期終了時期の7月下旬、3期終了時期の10月下旬、4期と後期終了時期の1月を主な実施時期とする。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生によるアンケートへの回答は集計され授業担当者に戻される。平成30年度より、個々の授業アンケート結果は認証の必要なホームページを通じて学生に公開する。学科単位での種々の集計結果は教授会等の電子資料として教員に公開されるほか、ホームページを通じて広く公開する。また、授業を担当する教員全員に、アンケート結果を踏まえて「学生」を読み手とした教員コメントの入力を求め、アンケート結果とともに学生に認証の必要なホームページを通じて公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

急速に変化する社会環境や超高齢化社会などに対応できる高度な知識と技術をもった栄養士および管理栄養士の養成を目的として、栄養学科と管理栄養学科を有する栄養学部が家政学部栄養学科から独立して設立された。教育理念は、建学の精神である女性の「自主自律」に基づき、「食と健康」における科学的で幅の広い知識と実践力を駆使することで人々の健康維持・増進に貢献し、それを通して「人の生(Life)」を支援できる人材を養成することである。実際に必要な能力は、食育や教育現場において社会に貢献できる能力と、食品産業において食のスペシャリストとして活躍できる能力であり、これらを4年間の学修により身につけることができるようにすることを目標としている。4月に開学した学部であるため、「設置主旨・目標の達成」をはかるべく取り組みと努力の現状について報告する。

1. 入学時における学生への教育理念の周知

4月授業開始前に、コロナ感染症対策のため密を避けてクラスごとに分かれた形でフレッシュマンセミナーを実施した。クラス担任の教員がカリキュラム、履修方法、学修方法、履修可能な資格の概要について説明を行い、理念等の周知を図った。同学科の上級生数名も加わって、学生同士のコミュニケーションを深め、人間関係構築を促進し、大学への帰属意識の定着をはかるとともに、学生に将来像を描かせることで、学修への動機づけを高めた。

2. 学科内教員の共通理解の徹底

会議の場において、設置の趣旨・目的および卒業時までには身につける能力を全教員が再確認した。また、学生が早期に学修環境に適応できるよう、クラス担任はもとより全教員が支援を行うことを確認した。

以上が現状である。教員が一丸となって、さまざまなライフステージおよび健康状態にある人々の健康維持・増進を担い社会で活躍できる能力を有する学生を育成する努力を惜しまない所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

令和4年度開設のため、栄養学部を含む大学全体の自己点検・評価は令和5年度に実施する

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(令和5年度予定)

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・令和6年に評価機関(大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で準備中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。